

ほんきょうろ

本郷路(ほんきょうろ)とは、人類すべてが本心から慕い求める故郷である理想世界=地上天国を実現するための道路という意味です。

(題字は文鮮明師)



6月号 June 1987 VOL.30

発行日/昭和62年6月1日(毎月1日発行)
定価/年間購読13000円(送料込)
発行所/◎国際ハイウェイ建設事業団
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12
新大栄ビル3号館4階 ☎03(496)-2862
郵便振替・東京4-150968(本郷路編集部)

ハイウェイ建設の輪世界へ広がる

日韓トンネル研究会第5回総会が開催される



総会では来賓の力強い挨拶が相次いだ(京王プラザホテル・コンコルドホール)

各界の期待高まる

韓国でも調査活動を開始

昨年十月の日韓トンネル調査糾抗の起式以来、国際ハイウェイ構想に対する各界からの期待と関心が急速に高まるなか、国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会(会長・佐々保雄)が、五月二十五日、東京都渋谷区京王プラザホテルで第五回総会を開催した。総会には、本プロジェクトの進展に関心をもち、一般約五百名が出席し、一年間の活動状況と来賓の力強いメッセージに目を傾げた。また総会に先立ち、同ホテル内では、約五百名の学者、技術者が参加して、研究会報告会も行われた。

(第一・二・四回に関連記事)

日韓トンネル研究会第五回総会には、各部署の研究報告会終了後、午後五時半から京王プラザホテル・コンコルドホールにて開かれた。総会には、研究会理事の大塚茂・特定産業信用基金理事の司会が始まり、同会副会長の瀧山雅・海外鉄道技術協力協会顧問が開会の辞を述べた。瀧山氏は、「厳しい国際環境のなかで、資源の少ない日本としては、世界から尊敬、信頼される民族にならなければならない。そのためには国境を越える国際ハイウェイの理念を前面に出して、韓国を始めとするアジアとの関係を緊密にする必要がある」と、国際ハイウェイ建設の必要性を訴えた。次に挨拶に立った佐々会長は、日韓トンネル計画が建設の段階にはいったことを宣言し、「近い将来、喜岐・対馬からも調査坑を掘削してゆくことになる。研究会の役員として、今後も責任をもって日韓トンネルの実現に邁進してゆきたい」と、夢のプロジェク実現への強い意欲を述べた。また来賓として、韓国を代表



総会には本構想を支援する会員・一般約500名が出席

イ建設が世界平和に貢献するものであることを強調し、細川氏も日本の政治の流れを紹介しながら「私は人類の平和に貢献するハイウェイ構想に賛成だ」と、人類の未来に光を投げかけるハイウェイ建設運動を高く評価した。続いて議事には、佐々会長が議長に選出されて、六十一年度の活動と収支決算が報告され、満場一致で承認された。さらに六十二年度の活動計画と予算案及び会則の改正、新役員選出が議事にかかれ賛成多数で可決された。議事の途中、ドーバー視察から帰国したばかりの大内和臣・西南学院大学教授によって、簡単な視察報告が行われた。また日韓トンネルの早期実現と総会の盛況を祝して、中曾根康弘・自民党総裁、竹下登・同幹事長ら多数の電報も披露された。議事終了後、国際ハイウェイ建設事業団の発足五周年を記念したマルチビジョンが上映され、文鮮明師による国際ハイウェイ構想の基本理念とそれに基づいた活動記録がスクリーンで紹介された。その後、清水馨八郎・千葉大学名誉教授によって「国際ハイウェイ・日韓トンネルの理念と研究会の使命」と題して記念講演が行われた。清水氏は、本プロジェクトを進めてゆく上での明快な理念の必要性を語り、文師のハイウェイ提唱理念から出発してアジアハイウェイ、日

未来をつなぐ国際ハイウェイ・プロジェクト



国際文化財団創設者 文鮮明師
人類一家族という理想を実現する方向で、東洋と西洋の諸国を連結するのが、国際ハイウェイの構想です。世界の人々を一つに結ぶ高速輸送のネットワークをつくり、世界の至る所に一日以内で往復できるようになれば、それだけ地上天国の実現は早いといえるでしょう。世界の経済が統合されるにつれ、広範な経済の発展が可能となり、人々はみな豊かな生活を営み、大部分の時間をレジャーに費やすようになるでしょう。私はすべての人々が真の生活を楽しみ理想世界が、必ず来るということを確信しています。

- (ご案内)
ビデオ ●「本郷路」国際ハイウェイ(10~15分、日、英語)
パンフレット ●「国際ハイウェイプロジェクト」(B5判、日、英語)
●「国際ハイウェイ基本構想」(A4判変型)
●「国際ハイウェイレポート」(B5判)
新聞 ●「本郷路」月刊(タブロイド判)
●お申し込みお問い合わせ ☎03-496-2862

Table with membership information: 会員募集. Includes categories like 正会員 (5,000 yen/year), 賛助会員 (individual 10,000 yen/year, corporate 50,000 yen/year), and contact info: ☎03-496-9211.

国際ハイウェイ建設事業団
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大栄ビル3号館4階 ☎03(496)2893

OKUMA
EQUAT CLUB
NO.800

人類の未来築く道

四年間にわたる研究実績をもとに開催された報告会、総会には、このプロジェクトに関心をもち多くの学者・技術者が参加し、その進捗状況に熱心に耳を傾けた。報告会では一年間の調査研究成果が部会ごとに発表され、総会・懇親会では来賓の希望あふれる挨拶が相次いだ。内閣府のため民間資金をもとにした大規模構想が次々と発表されている日本において、調査の掘削がすでに始まり、韓国でも研究会が発足するなど、実現をめざして着実に進められている国際ハイウェイプロジェクトは各方面から大きな期待を集めており、まさに天運到来の時を感じさせた。さらに韓国側の代表者も参加して総会の盛況を祝うなど、多くの人の夢と期待を集めつつ早期建設への大きな盛り上がりが見られた。

日韓トンネル研究会 第5回総会

始まるべく、最も実現性の高いプロジェクトとして内外から注目され始めた。報告会、青函の技術者を用いた渡海測量や海洋ボリリング、そしてトンネルの設計・施工計画などが詳細に発表される。その豊富な研究内容に出席者は驚いた様子だった。また、河野教授の研究で、アジアハイウェイ建設は東シナ海に大きな経済波及効果をもたらすことが算出されることが明らかになり、賛同者に大きな希望を与えた。

また今回、研究会総会に初めて出席した韓国・国際ハイウェイ研究会の鄭副会長が巨額の地質調査の報告を行い、今後、日本の皆様と力を合わせて韓国側の調査を進めたいと、韓国側の意向を語った。その後、役員選出が行われ、会場は再び拍手に包まれた。市川正巳・元筑波大学副学長、野沢太三・参議院議員の二十名が、今後新しい研究体制のもとで急ピッチに進められてゆくことが期待された。

多くの賛同者得る

ウエイ構想の背後に愛の思想

「唐津の調査斜坑も既に二百メートルに達し、近い将来、喜岐・対馬からも掘削が行われることになるであろう。私達は日韓トンネル実現に責任をもちつつある」と、総会で挨拶した佐々木会長が力強く宣言する。会場は拍手の渦に包まれた。

厳しい国際情勢のもと、各国との協調や大きな政治・経済的役割を求められている日本では、あり余る民間資金を活用する巨大事業が次々と提案されている。現在のところ、そうした資金は、相対的に金利の高いアメリカに流出したり土地や株などに利用されているが、それらを具体的な伴う資本財の建設に向けて使おうという声が高まっている。その中でも国際ハイウェイ構想は、既に膨大な調査資料が収集され、斜坑の掘削も開始されている。

また、韓国側の意向を語った市川正巳・元筑波大学副学長、野沢太三・参議院議員の二十名が、今後新しい研究体制のもとで急ピッチに進められてゆくことが期待された。



▲談笑する研究会役員 (金山政英・駐大韓民国大使(左)と清水馨八郎・千葉大学名誉教授(右)、懇親会会場で)



▲日韓両国が協力してハイウェイ建設に取り組むことを確認して万歳三喝が行われた (佐々木保雄会長(左)と鄭昌熙副会長(右))

記念講演では、清水馨八郎・千葉大学名誉教授が国際ハイウェイの理念について講演した。清水氏は、提唱者である文鮮明師の統一思想から着想されたのがハイウェイ構想であるとし、原点に戻ってこのプロジェクトの意義を考えよう、ユーモアに溢れた口調で話した。講演は笑い声と喝采の連続で大いに盛り上がったが、そのなかで出席者はこの構想の背後に流れる神の愛を感じたようにも思われた。

研究会の会長に就任してもう四年が経過しました。日韓トンネル建設の目的や意義についてはしばしばお話ししてきました。ここで申し上げるまでもありませんが、この間、多くの方々の協力によってトンネル建設に必要な膨大な資料を収集することができました。一部からは、もう調査より建設に移った方がよいのでは、といった声も出てきています。

日本側の技術習得 韓国・国際ハイウェイ研究会 副会長 鄭昌熙

本来ならば、韓国・国際ハイウェイ研究会の尹世元会長が韓国側を代表して挨拶すべきところですが、急用で出席できなりました。私が代理として挨拶させていただきます。

アジアへ関心を 海外鉄道技術協力協会顧問 瀧山 養

日本は現在、欧米との経済摩擦で極めて厳しい立場に立たされています。国際的にも国内的にも未曾有のピンチではないかと感じています。輸出振興が全てという戦後の政策がみな行き詰まっています。技術的交流が深まれば、

天が守る大事業 九州大学名誉教授 高田源清

本日お集りの皆様にご報告したいことがあります。それは、昨年十月一日の起工式当日、現地は朝からドシャ降りでした。しかし式典の前には、奇跡的に青空が広がり最高の天候になったのです。このプロジェクトはまさに天が守る事業です。

主催者・来賓あいさつ

神主義で統一を 駐大韓民国大使 金山政英

私どもは、韓国・国際ハイウェイ研究会の尹世元会長が韓国側を代表して挨拶すべきところですが、急用で出席できなりました。私が代理として挨拶させていただきます。

世界平和に貢献 衆議院議員 江口一雄

初めて日韓トンネルの総会に出席しましたが、私自身この計画は、日本にとってどうして必要なのか、韓国側にとって必要なのか、資源の少ない日本にとって世界平和は最も重要な問題です。現状に対する認識が足りないようであれば、世界中を歩いて自分の目で見て確かめたいと思います。その考えのもと、この構想が世界平和に貢献するものではないかと確信しています。

膨大な資料を収集 日韓トンネル研究会会長 佐々木保雄

研究会の会長に就任してもう四年が経過しました。日韓トンネル建設の目的や意義についてはしばしばお話ししてきました。ここで申し上げるまでもありませんが、この間、多くの方々の協力によってトンネル建設に必要な膨大な資料を収集することができました。一部からは、もう調査より建設に移った方がよいのでは、といった声も出てきています。

建設の輪を世界へ 日本工業技術振興協会会長 西堀栄二郎

今日の日においては、国民全体が大きな夢と理想をもって、このプロジェクトに大賛成の一人でございます。

政治評論家 細川隆一郎

私は今、甲府での講演から帰ったばかりです。国際ハイウェイ構想についての話をうかがい感動して本日の総会に出席した次第です。すでに唐津から掘削されたという話ですが、唐津市には私の親戚がいますのでその家の下を是非掘ってほしいものです。

世界平和に貢献 衆議院議員 江口一雄

初めて日韓トンネルの総会に出席しましたが、私自身この計画は、日本にとってどうして必要なのか、韓国側にとって必要なのか、資源の少ない日本にとって世界平和は最も重要な問題です。現状に対する認識が足りないようであれば、世界中を歩いて自分の目で見て確かめたいと思います。その考えのもと、この構想が世界平和に貢献するものではないかと確信しています。

天が守る大事業 九州大学名誉教授 高田源清

本日お集りの皆様にご報告したいことがあります。それは、昨年十月一日の起工式当日、現地は朝からドシャ降りでした。しかし式典の前には、奇跡的に青空が広がり最高の天候になったのです。このプロジェクトはまさに天が守る事業です。

東西文明を融合する

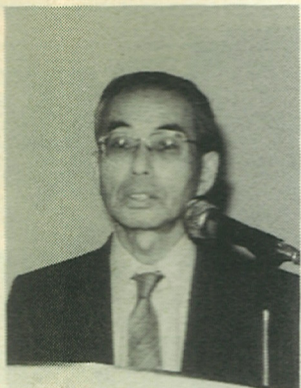
国際ハイウェイ及び日韓トンネルの理念と研究会の使命

記念講演

第五回総会での記念講演より抜粋 要約

共通理念の必要性

大仕事を遂行するためには、その理念と使命感をまとめた明快な理念が必要となる。理念なくして大仕事を進めることは、舵なき舟のようなものである。また、高層ビルを建てようとする理念は、参加意欲を高め、協力者の情熱、感動、使命感を奮い立たせることになる。



千葉大学名誉教授 清水馨八郎

国際ハイウェイ構想は、人類がかつて挑んだことのない夢のような超大型プロジェクトである。また、国境や民族を超え、あらゆる分野の科学者・技術者を総動員する超学際的事業ともいえる。工事は長期間にわたるため、長く持続的な協力を得る必要がある。さうして、国際的コンセンサスを獲得し、参加者に共通の人類の使命感、歴史的偉業に参加していることの喜びと感動を呼び起こす必要がある。

平和をもたらし新シルクロード

今日、韓半島には現代世界のあつちの矛盾、戦争、困難が圧縮されて表れている。この問題を解決するには、対立の両面を同時に解決する必要がある。この高層ビルを建てようとする理念は、参加意欲を高め、協力者の情熱、感動、使命感を奮い立たせることになる。その理想実現のために、世界に新たな価値を付加してき

このように地域間の融合をはかる手段として交通に勝るものはない。古代から権力者はこうした道の特性を利用してきた。「道を制するものは天下を制する」から「道は人と物と情報の交流を促進し、文化を伝播してシルクロードのように歴史をつくりあげてきた。道の交差するところに都市が発生し、その交通条件の変化が都市の盛衰を決定した。このように道は、人々の連帯感を生み出す手段であり、地域間、都市間、国家間を結びつけて平和させる最高の手段である。いわば道は人間社会の動脈としてゆくものである。世界は一

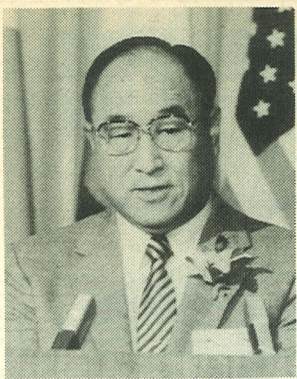
五月十五日から約十日間、イギリスとフランスでドーバー海峡の資料を集め、それぞれの関係の地域産業がトンネル建設によって大きく振興されることを話し合ってもらった。イギリス側の拠点となるケンブリッジシャー地方は風光明媚でパカンスを楽しむ地域ですが、そこにトンネルが通ることになれば平和な生活が侵襲されることになる。建設に反対しています。

フランス側には具体的な問題はな、イギリス側の批准を待っている状況です。イギリスにだって市場の拡大が約束されるためほとんどの政治家が賛成し、一部の住民が反対しているにすぎません。従ってトンネルの成功はまず間違いなくあるというのが一般的な見方です。十分採算が合うことから、今後更に明るい見通しがたてられるでしょう。ドーバー海峡トンネルの場合、資金は半民間から集めることになっています。つまりトンネル建設は民間によって推進されており、既に国民的賛意を得ているのです。

提唱者の言葉

第十四回総会の「統一に関する国際会議」(一九八二年)の講演の抜粋

韓国は、統一運動を通じて四つの分野(宗教・思想・文化・経済)における統一を実現する能力を持っています。そのうち最初の三つの分野です。すでにほとんどが成就されています。この目標の達成



国際文化財団創設者 文鮮明師

韓国が統一運動の中心に

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

また、私たちの統一運動の使命は、この目的のために、高度に発達した工業を提唱せよというところにあります。韓国の統一運動は、韓国と統一運動は、日本とアメリカを連結することに成功し

ドーバー海峡視察報告

五月十五日から約十日間、イギリスとフランスでドーバー海峡の資料を集め、それぞれの関係の地域産業がトンネル建設によって大きく振興されることを話し合ってもらった。イギリス側の拠点となるケンブリッジシャー地方は風光明媚でパカンスを楽しむ地域ですが、そこにトンネルが通ることになれば平和な生活が侵襲されることになる。建設に反対しています。

英仏両国に利益

ドーバー海峡トンネルにおける政治的背景を考えた場合、ここに至るまでには相当の配慮が必要で、長大な建設が困難な輸送設備としては非現実的だ。これに対し、現代のハイウェイ網は、交通の主軸を海洋から内陸へと移していった。さらに、東アジアのハイウェイは、東北アジア経済共同体の基礎構造に打ち上げる絶好のチャンスではないかと思われる。米ソの時代からやがて日韓の時代へと歴史は移ってゆく。

政府と民間が賛同

イギリスでは国家としての専ら地域の損害といった複雑な状況の中で、六月十一日、総選

海峽トンネル建設に国民的な賛意を得る

これは国全体としてみればイギリスの方が大きいといえます。このイギリスは、フランスからヨーロッパ、更には世界の市場に直行できることになるところです。それによってフランス側が先行するのではなく、イギリス側が先行するようになります。トンネル建設がなされることによって、トンネルが許可を出せば誰も文句を言うことは出来ません。

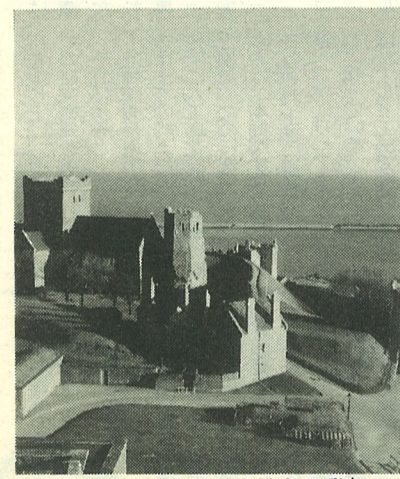
ドーバー海峡トンネルは英仏海峡の下を通る非常に狭いので、この海峡は非常に狭いので、トンネルは両国の領海内のみを通ります。従って両国政府が許可を出せば誰も文句を言うことは出来ません。



海峽トンネル建設に国民的な賛意を得る

西南学院大学教授 大内和臣

これは国全体としてみればイギリスの方が大きいといえます。このイギリスは、フランスからヨーロッパ、更には世界の市場に直行できることになるところです。それによってフランス側が先行するのではなく、イギリス側が先行するようになります。トンネル建設がなされることによって、トンネルが許可を出せば誰も文句を言うことは出来ません。



ドーバー海峡から英仏海峡をのぞむ

ドーバー海峡トンネルは英仏海峡の下を通る非常に狭いので、この海峡は非常に狭いので、トンネルは両国の領海内のみを通ります。従って両国政府が許可を出せば誰も文句を言うことは出来ません。

科学技術の発展にも貢献



報告会では韓国・巨済島の地質を発表する鄭昌熙・ソウル大学名誉教授
報告会では愛媛県分野の学者・技術者が多数出席した

日韓トンネル研究会第5回総会

部会研究報告会

第五回総会に先立ち午後一時半から、京王プラザホテル内で、六十一年度の部会研究報告会が開かれた。報告会では、一部会から四部会までの一年間にわたる研究成果が発表されたが、経済効果から環境問題にいたる幅広い研究内容に、出席者はトンネル実現へ大きな希望をもったようであった。また今回は、韓国・国際ハイウェイ研究会で実施された巨済島の地質調査の成果も報告され、日本側だけでなく韓国でも日韓トンネル建設に向けて本格的な調査が開始されたことを印象づけた。

第一部会報告

報告会の冒頭、挨拶に立った年度の研究結果が報告された。佐々会長は、集まった多くの技術者に感謝の意を表しながら「研究会の各部会とも極めて順調かつ迅速に調査研究が進められており、それらは十分皆様の御批判に耐えるものと思えます」と語り、一年間着実に進められてきた研究活動を紹介した。

大きな経済効果を生む

この報告で河野教授は、このプロジェクトが東アジア全域に及ぼす影響を述べた。報告会では韓国・巨済島の地質を発表する鄭昌熙・ソウル大学名誉教授、報告会では愛媛県分野の学者・技術者が多数出席した。

第二部会報告

日韓トンネルの地形・地質・水理等を研究する第二部会は、昨年度実施した海洋調査の解析結果と渡海調査及び韓国巨済島の地質調査の結果を報告した。これまで日韓海域では二百五十五点でトレン調査が行われており、高知大学の瀧澤教授は、そのなかから百五十五点を選び出して報告された。

第三部会報告

ルート選定・設計・施工を担当する第三部会は、道路トンネル、橋梁など四つの委員会が構成されているが、今回はその中から橋梁計画と道路トンネル計画が報告された。

極めて大きな経済波及効果をもたらすシステムに、出資したものがいづれも他に換えられるよう、また資金調達方法についても提案を行った。

また日韓トンネルのルートにあたる巨済島の地質調査の結果が、鄭昌熙・ソウル大学名誉教授によって発表された。韓国側の調査報告は今回が初めてであり、鄭教授の報告は出席者の大きな関心を呼んだ。

呼子・岐間を想定し、今回は目を取り上げ、それぞれについて主に主幹線などの主要構造材の軽量化、高強度化を図るため、新材料の研究結果が発表された。報告に立った日本工営の真柴氏は「将来は強化プラスチックなどの非金属材料が長大橋梁に用いられるようになる」と、橋梁計画の展望を語った。

道路トンネル計画は、興和コンクリートの比留間氏が報告。比留間氏は、ルートやトンネル構造、換気計画、人工島など、約十四年と見積もられている。道路トンネルに必要な七つの項目に、トンネルを有料道路とし、その影響を評価するためのもの

呼子・岐間を想定し、今回は目を取り上げ、それぞれについて主に主幹線などの主要構造材の軽量化、高強度化を図るため、新材料の研究結果が発表された。報告に立った日本工営の真柴氏は「将来は強化プラスチックなどの非金属材料が長大橋梁に用いられるようになる」と、橋梁計画の展望を語った。

また日韓トンネルのルートにあたる巨済島の地質調査の結果が、鄭昌熙・ソウル大学名誉教授によって発表された。韓国側の調査報告は今回が初めてであり、鄭教授の報告は出席者の大きな関心を呼んだ。

日韓トンネル・研究報告会プログラム

- 開会挨拶 佐々 保雄(日韓トンネル研究会会長)
- 【第1部会】
 (1)アジア高速道路網最適投資計画の評価のための経済効果計測(その2) 河野 博忠(筑波大学教授)
- 【第2部会】
 (1)岩波・対馬両水道の海洋地質学的研究 満塩 大光(高知大学教授)
 (2)対馬海峡西水道海洋ボーリング検討報告 相原 安津夫(九州大学助教授)
 (3)大韓民国巨済島の地質 鄭 昌熙(ソウル大学名誉教授)
 (4)第一次渡海水準測量について 長島 敏正(朝日航洋(株)技師長)
- 【第3部会】
 (1)呼子・岐間橋梁計画(その3) 真柴 純治(日本工営(株)第二土木技術部課長)
 (2)道路トンネル計画に関する調査 比留間 豊(興和コンクリート(株)顧問)
- 【第4部会】
 (1)名護屋浦・呼子海域の環境調査 彦坂 繁雄(三洋水路測量(株)常任顧問)
 (2)浅茅湾の多目的開発を目的とする生態系調査 辻田 時美(北海道大学名誉教授)
- 質疑応答

国際ハイウェイプロジェクト

日韓トンネル研究会役員

- 【会長】 佐々 保雄 北海道大学名誉教授
- 【副会長】 金山 政英 元駐大韓民国日本大使
 瀧山 養 元駐大韓民国日本大使
 (海外鉄道技術協力協会顧問)
- 【理事長】 日韓ハイウェイ建設事業団理事長
- 【顧問】 安藤 豊彦 小野田セメント(株)相談役
 市川 正巳 元筑波大学副学長
 藤谷 正造 評論家
 岡田 賢 元大阪大学学長
 尾上 正男 前神戸学院大学学長
 景山 哲夫 近畿大学学長
 久保木修己 国際文化財団理事長
 郷司 浩平 日本生産性本部会長
 高田 源清 九州大学名誉教授
 那須 聖 外交評論家
 西堀英三郎 前日本工業技術振興協会会長
 山田伴次郎 前宇都宮大学学長
- 【参事】 池田 肇 横河工務(株)取締役社長
 大塚泰明 サントリーコンサルタント(株)代表取締役社長
 岡本 男雄 山岸建設(株)代表取締役社長
 川崎雄志夫 日本鋼管(重工業)事業部顧問
 黒田 晃 日本工営(株)代表取締役副社長
 小林 直樹 住友コンサルタント(株)代表取締役副社長
 兼武 兼武 住友建設(株)監査役
 谷口 敏雄 地すべり対策技術協会副会長
 永野 茂門 参議院議員
 野川 親治 総合地質調査(株)代表取締役社長
 野沢 太三 参議院議員
 比留間 豊 興和コンクリート(株)顧問
 前原 正雄 西松建設(株)監査役
 宮崎 政三 岩崎電気(株)相談役
 八木 信雄 日本物理探検(株)技術顧問
 日韓文化協会理事長
- 【監事】 武田 勝彦 早稲田大学教授
 本島 信 弁護士
- 【常任理事】 小田 茂 特定産業雇用基金理事
 小山田秀生 国際文化財団副理事長
 北原 正一 興和(株)取締役
 清水繁一郎 千葉大学名誉教授
 高橋 彦治 八二一代エン지니어リング(株)顧問
 辻田 時美 北海道大学名誉教授
 持田 豊 サントリーコンサルタント(株)常務取締役
 山岡 建雄 国際ハイウェイ建設事業団副理事長
 李 健 政治経済評論家
- 【理事】 伊吹山四郎 日本大学教授
 太田 洪量 国際ハイウェイ建設事業団常任理事
 岡部 達郎 元国鉄常務理事
 河野 博忠 豊橋技術科学大学教授
 折下 功 筑波大学教授
 久保村圭助 芝浦工業大学教授
 紅林 茂夫 国際経済研究センター理事長
 小関 幸治 興和(株)顧問
 桜井 設雄 国際ハイウェイ建設事業団常任理事
 杉本 卓司 日本物理探検(株)社長
 新助 新助 中央開発(株)代表取締役会長
 南日 俊夫 前日本海洋学会会長
 濱 建介 前建設工業(株)常務取締役
 平野 敏行 元西海区水産研究所長
 福田 泰三 サントリーコンサルタント(株)常任顧問
 吉田 元男 興和(株)代表取締役社長
 松本 嘉司 東京大学教授
 松山 貢三 国際ハイウェイ建設事業団副理事長
 吉村 恒 日本シールドエンジニアリング(株)常任顧問
 佐藤工業(株)常務取締役
- ☆印は新役員を示す(アイウエオ順)
 (昭和六十二年六月一日現在)